

質問要旨	備考
<p>【1】 14番 清水喜久男 議員 1 令和元年度補正予算及び令和2年度の予算編成について (1) 農業支援について ① 台風15号及び台風19号での農業被害の状況と支援内容はどうか ② 令和2年度予算における農機具の共同購入補助等の支援充実はあるのか ③ 上田市農業委員会の市への要望書の提出についてどのように考えているか (パネル使用)</p> <p>(2) 道路等の改修事業について ① 道路等の各区からの改修要望を3カ所以内としているが、市全体の改修をどのように把握しているのか ② 提出された改修要望から実施対象をどのように検討し選定するのか (パネル使用) ③ 検討し選定した結果について、市民へ情報公開をしてはどうか</p> <p>(3) 会計年度任用職員について ① 制度の導入によって現在の臨時職員、非常勤職員はどのように移行されるのか ② 会計年度任用職員の給与及び手当の支給水準はどうなっているか ③ 会計年度任用職員制度導入によって人件費の増減状況はどうか (パネル使用)</p>	
<p>【2】 2番 楚山 伸二 議員 1 台風19号災害対応について (1) ハザードマップについて ① 見直しの必要性についてはどうか ② 橋梁等の監視体制強化の取り組みについてはどうか</p> <p>(2) 停電・断水予防対策の強化について (パネル使用) ① 停電・断水となる要因は、どのようなことを想定しているのか ② 停電・断水を予防するための取り組みはどうか (現状と今後について)</p> <p>(3) 避難所開設の判断について (パネル使用) ① 開設についての情報の伝え方、タイミングは適切であったか ② 全小中学校を開設しなかった理由は何か ③ 複合型中心拠点誘導施設は防災・避難拠点になりえるのか</p> <p>(4) 市長公務活動について ① 災害から1か月間の「災害関連以外」の公務はどうであったか</p>	
<p>【3】 1番 高橋 充宏 議員 1 埋もれている力を活かした地域コミュニティについて (生産年齢世代編) (1) 小諸市の生産年齢世代がもつ力について ① 市政を推進するに当たり、生産年齢世代がもつ力をどう認識しているか ② 地域づくり推進において生産年齢世代に期待することは何か</p> <p>(2) 小諸市の地域づくりにおける子育ての重要性について ① 地域づくりと子育ての関連をどうとらえているか ② 市が行うスポーツイベント・教室などの現状と子どもの参加状況はどうか</p> <p>(3) 小諸市の人口減少への対策について ① 小諸市における人口減少の大きな要因は何か ② 人口減少を克服するために生産年齢世代に期待することは何か</p>	
<p>【4】 6番 小林 一彦 議員 1 小諸市の気象観測体制について (パネル使用)</p>	

質問要旨	備考
<p>(1) 小諸市の気象観測体制の現状について</p> <p>① 小諸市には気象観測所は何箇所あり、それぞれ所管はどこか</p> <p>② そこで得られた観測データはどのように活用されているか</p> <p>③ 小諸市が公表している気象データはどの気象観測所で観測されたものか</p> <p>④ 現在の観測体制の課題をどうとらえているか</p> <p>(2) 観測体制の強化について</p> <p>① 局所的な豪雨、突風等による災害に対応するため、市独自の気象観測システムの導入はどうか</p>	
<p>【5】3番 高橋 公 議員</p> <p>1 高齢者・高齢世帯の安心安全な暮らしについて (パネル使用)</p> <p>(1) 一人暮らしあるいは高齢者だけの世帯への防災情報伝達について</p> <p>① アナログ防災ラジオ廃止後の計画はできているか</p> <p>(2) 高齢運転者の交通安全支援について</p> <p>① 小諸市の最近の免許返納実績はどうか</p> <p>② 自動車の安全運転支援機能についての行政の認識はどうか</p> <p>2 「坂のまち」を利用したシティプロモーションについて (パネル使用)</p> <p>(1) 高地トレーニングエリア構想と連動した体育施設の予約・運用について</p> <p>① 市外のアスリート団体と市民の体育施設利用の調整の状況はどうか</p> <p>(2) 「スポーツ自転車のまち」について</p> <p>① 「坂のまち」を強みとした自転車愛好家に対するシティプロモーションはどうか</p>	
<p>【6】8番 丸山 正昭 議員</p> <p>1 小諸市消防団について</p> <p>(1) 消防団員の定数減について</p> <p>① アンケートの内容について、どこに重点をおいたか、又その結果内容はどうか</p> <p>② 消防団員定数について現状をどのようにとらえているか</p> <p>③ 団員定数を減らす時期と考えるがどうか</p> <p>④ 団員への支援対策を考えられないか</p> <p>2 自然エネルギーの活用について</p> <p>(1) 砂防ダムを活用した水力発電施設の設置について</p> <p>① 水力発電施設設置についての考えはあるか</p> <p>② 長野県企業局と小諸市との関係はどのようになっているか</p>	
<p>【7】4番 土屋 利江 議員</p> <p>1 防災対策について</p> <p>(1) 台風19号の被害状況について</p> <p>① 市内のため池の被害状況と今後の取り組みはどうか (パネル使用)</p> <p>② 災害時において、自主防災組織と消防団との連携をどのように進めているか (パネル使用)</p> <p>③ 市内各区における自主防災組織の現状はどうか</p> <p>(2) 避難所について</p> <p>① 台風19号時における避難所開設の状況はどうであったか</p> <p>② 避難所運営マニュアル作成について検討はされているか</p> <p>③ 福祉避難所開設についての考え方と取り組み状況はどうか</p> <p>④ 避難所の運営について女性や子育て家庭に配慮はされているか</p>	

質問要旨	備考
<p>(3) 地域防災計画について</p> <p>① 防災会議における女性の参画状況はどうか</p> <p>② 台風19号の災害後、計画の見直しは検討されているか</p>	
<p>【8】15番 中村 憲次 議員</p> <p>1 防災・減災について</p> <p>(1) 台風19号の災害と今後の対応について</p> <p>① 災害復旧対応の進捗状況はどうか</p> <p>② 災害発生危険性のある、農業用ため池対策を、今後どのように対応していくのか (パネル使用)</p> <p>③ 小諸市浄化管理センターの危機管理体制はできているか (パネル使用)</p> <p>④ 事業用太陽光発電設備と、それに起因した周辺の被害状況と対応はどうであったか</p> <p>2 事業用太陽光発電設備設置について</p> <p>(1) 現状と課題について</p> <p>① 条例制定をした近隣自治体の取り組みをどのようにとらえているか</p> <p>② 現在、把握している設置業者と自治会区長とのトラブルはあるか</p>	
<p>【9】17番 田中 寿光 議員</p> <p>1 基本計画財政目標未達成への対応について</p> <p>(1) 目標達成に向けた改善策について</p> <p>① 市債の今年度の繰上償還に充てる財源見込みはどうか</p> <p>② 市債の今年度の繰上償還による市債残高の圧縮見込みはどうか</p> <p>(2) 令和2年度からの改善策について</p> <p>① 事業費フレームの設定について例外はないのか</p> <p>② 財源確保の中で、新規事業の特定財源は考慮しないのか</p> <p>③ 市単独補助費、扶助費の見直し基準の作成状況はどうか</p> <p>④ 部単位での歳出削減に当たり、要求額削減の最終調整はどう図るのか</p> <p>⑤ 職員数の抑制に向けて、定員管理計画策定をどう進めるのか</p> <p>⑥ 公共施設の個別施設計画策定に向けて、効率化と市民サービスの両立についてどう考えるか</p>	
<p>【10】10番 早川 聖 議員</p> <p>1 安全・安心で、みんなが暮らしやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 台風19号の災害対応について</p> <p>① 地域防災計画に照らして、避難所開設や住民への情報伝達の対応は適正であったか</p> <p>② 情報発信・収集(連絡・確保)について、課題をどう認識しているか</p> <p>(2) 通学路における安全対策について(パネル使用)</p> <p>① 老朽化した歩道橋の管理・点検をどう進めていくか</p> <p>② 地下道(通路)の安全対策について強化していくことが必要ではないか</p>	
<p>【11】16番 小林重太郎 議員</p> <p>1 災害時の子ども(発達障がい子どもを含む)や女性(特に妊産婦)へのサポート環境の整備・充実について</p> <p>(1) 子ども(発達障がい子どもを含む)へのサポートについて</p> <p>① 避難所などでの子どもたちへのサポート(遊び場や傾聴できる人材の確保など)について、どのような想定をしているか</p> <p>② 子どもたちへの心のケアについて、どのような体制でのぞむのか</p>	

質問要旨	備考
<p>③ 避難所などでの発達障がい子どもたちへの配慮について、どのように認識しているか</p> <p>④ 小諸養護学校などとの連携（福祉避難所など）について、どのように考えているか</p> <p>(2) 女性（特に妊産婦）のための環境整備とサポートについて</p> <p>① 女性（特に妊産婦）の自宅での非常備蓄および非常持出品について、広報、指導などはなされているか</p> <p>② 女性（特に妊産婦）の必要物資について、小諸市の備蓄の現状はどうか</p> <p>③ 避難所などでの女性（特に妊産婦）への配慮（男女別トイレ、更衣室、授乳室、洗濯物の干し場など）について、どのように想定しているか</p> <p>④ 福祉避難所（室）の設置について、どのように認識しているか</p> <p>⑤ 佐久地域の大学、短期大学、専門学校などとの連携の可能性は、どのように認識しているか</p> <p>⑥ 保健師などによる在宅など避難所以外の避難者（特に妊産婦）の把握と情報共有について、どのように認識しているか</p> <p>⑦ 災害時における助産師の役割、活動について、どのように認識しているか</p> <p>⑧ 長野県助産師会佐久地区との「災害時の医療救護についての協定書」の締結（広域として）を前向きに検討してはどうか</p>	
<p>【12】13番 神津眞美子 議員</p> <p>1 人権週間を迎えて</p> <p>(1) 人権政策、男女共同参画推進について</p> <p>① 人権政策で掲げた「隣保館運営事業」「多文化共生推進事業」の進捗についてどうとらえているか</p> <p>② 第71回人権週間の取り組み内容は何か</p> <p>③ 初開催となった「こもろ女性会議」をどのように評価しているか</p> <p>④ 小諸市における女性の参画率の動向はどうか</p> <p>⑤ ワークライフバランスの取り組みについて成果は出ているか</p>	
<p>【13】18番 福島 鶴子 議員</p> <p>1 障がい者（児）福祉の現状と増進について</p> <p>(1) 「第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画」の達成度について</p> <p>① 障がい福祉サービスは目標に対しどの程度達成されているか</p> <p>② 計画策定後、2年弱が経過する中で「何が積み残され、今後に向け改善のポイントがどこにあるか」の検討はどのようにされているか</p> <p>③ 本計画の基本的な考え方の一つである「一元的な障がい福祉サービスの実施」についてどのように考え、具体的対応はしているか</p> <hr/> <p>(2) 制度と地域資源を活かした福祉サービスについて</p> <p>① 制度はサービスの基準と考える。小諸市として制度以外に地域資源を活用し、障がい者が「くらしやすさ」を感じられるサービスはあるか</p> <p>② 障がい者福祉について庁内横断的な検討が必要な時はどう進められるのか</p> <hr/> <p>(3) 障がい児福祉について</p> <p>① 「障がい児福祉」の最終目標はどこに置かれるべきと考えるか</p> <p>② 障がい児にとって『適切な指導者』は大きなポイントと考える。人材育成の現状はどうか</p>	

質問要旨	備考
<p>【14】5番 掛川 剛 議員</p> <p>1 地域防災の拡充について</p> <p>(1) 台風19号における各区での行動について</p> <p>① 各区での避難行動をどのようにとらえているか</p> <p>② 自主防災組織・支え合いマップ・防災訓練は活かされたか</p> <p>(2) 今後の防災対策のあり方について</p> <p>① ハザードマップに、より詳細な危険個所等を盛り込んだマップを各区で作成する必要があると考えるがどうか</p> <p>② 支え合いマップに基づく防災訓練を行う必要があると考えるがどうか</p> <p>③ 防災士等地域の防災を担うリーダーの活動体制の構築についてどう考えるか</p> <p>④ 緊急避難場所で「不適」・指定避難所で「条件付き適」とされる地区の具体的な避難方法を示す必要があると考えるがどうか</p>	
<p>【15】12番 柏木今朝男 議員</p> <p>1 SDG s (持続可能な開発目標) について</p> <p>(1) 小諸市におけるSDG sの推進について</p> <p>① 来年度策定の「小諸市第11次基本計画」にSDG sを反映させる考えはあるか</p> <p>② 小諸市として、「だれ一人取り残さない」「全ての人に健康と福祉を」の観点から、今後の福祉施策をどう進めていくのか</p> <p>③ 目標11「住み続けられるまちづくりを」の観点から、今後どのように施策を展開していくのか</p> <p>④ 目標14「海の豊かさを守ろう」の観点から、海洋プラスチックごみ削減に向けてどのような取り組みをしていくのか</p> <p>(2) 長野県がSDG s未来都市に選定された「学びと自治の力による自立・分散型社会の形成」について</p> <p>① 小諸市は県のSDG s未来都市の戦略課題をどのようにとらえ、どう関わっていくのか</p> <p>(3) 持続可能な開発のための教育 (E S D) の考え方について</p> <p>① 学校教育・社会教育においてE S Dの考え方をどのように取り入れていくのか</p>	